

## 富士宮市物品等購入公募型指名競争入札

- 1 入札番号 第 20009 号
- 2 物品購入名 消防業務用備品（消防吏員用上下型防火衣）
- 3 納入場所 富士宮市消防本部消防総務課
- 4 納 期 令和 8 年 9 月 3 0 日
- 5 概 要 別紙のとおり  
同等品不可
- 6 参加資格要件
- (1) 地方自治法施行令第 1 6 7 条の 4 の規定に該当しない者
- (2) 富士宮市物品購入の入札参加資格の認定を受けている者
- (3) 富士宮市物品製造等の契約に係る指名停止等措置要綱に基づく指名停止措置を受けている期間中でない者
- (4) 静岡県内の本店または支店、営業所で営業種目【16 消防防災用品】登録者
- 7 申 込 手 続 等 富士宮市物品購入等公募型指名競争入札参加申請書（別記様式）をファクシミリ又は郵送（提出期日までに必着）で申請すること。  
※ 申請後必ず契約管理課契約係に電話連絡すること。
- 8 申請書提出日時 令和 8 年 4 月 13 日午後 0 時まで

## 富士宮市物品購入等公募型指名競争入札参加申請書

令和 年 月 日

富士宮市長 あて

上記の物品等購入案件について、入札に参加したいので申請します。

住 所 商 号 又 は 名 称 代 表 者 職 氏 名			
電 話 番 号		FAX 番 号	
担 当 者			

(送信票は必要ありません。この申請書のみ FAX してください。)

富士宮市総務部契約管理課

TEL : 0 5 4 4 - 2 2 - 1 1 2 1

FAX : 0 5 4 4 - 2 2 - 1 1 4 2

※ FAX 送信後は、必ず電話で受信確認をしてください。

# 仕 様 書

品 名	消防業務用備品(消防吏員用上下型防火衣)
規 格	別紙 防火衣仕様書のとおり
数 量	15式
納 期	令和8年 9月30日
納入場所	富士宮市役所地下1階 富士宮市消防本部 消防総務課
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"><li>・同等品不可。</li><li>・納入に関し、配送の場合は配送料を含む。</li><li>・サイズについては、契約後通知するものとする。</li><li>・新ガイドラインに準拠したものとする。</li></ul>

※ 仕様についての問い合わせは、契約管理課(契約係)まで電子メールで確認して下さい

E-mail: kanzai@city.fujinomiya.lg.jp

TEL: 0544-22-1121(直通)

FAX: 0544-22-1142

# 防火衣仕様書

富士宮市消防本部

## 1 総則

### (1) 目的

この仕様書は、富士宮市消防本部において調達する消防吏員用上下型防火衣（以下「防火衣」という）について必要な事項を定める。

### (2) 条件

消防活動上の安全性を確保するために必要な防護性能と強度を有するとともに、十分に品質管理を行った材料を用いて、仕上がりが優良な製品であること。

### (3) 適合法令等

防火服上下は、消防隊員用個人防火装備に係るガイドライン（2017年3月改訂版）第2章第1節防火服に求められる性能等に準拠した製品であること。また、あるゆる面で消防吏員の立場に立って考えたデザインを採用したことが評価され、2008-2009 グッドデザイン賞を受賞した防火衣とする。

### (4) 品質管理

製造元で自主検査を行うとともに、製作工程上の品質管理の適正を図る。

## 2 仕様

### (1) 型式・名称

(株)倉本産業製 スプラウドフロー ネイビー

### (2) 構成

上衣、ズボンで構成する。

ア 上衣及びズボンについては、外衣と內衣で構成する多層構造とする。

イ 上衣は、內衣を袖口押しホック2個と内身頃一周にしなやかさのあるコイルファスナー1本により着脱可能型とする。

ウ ズボンは、內衣を裾口押しホック3個と腰部一周にしなやかさのあるコイルファスナー1本により着脱可能型とする。

エ 上衣の襟からズボンの裾までの間において、外衣生地から断熱層までの貫通箇所がないこと。

### (3) 材料等

#### ア 外衣生地

基本的にメタ系芳香族ポリアミド及びパラ系芳香族ポリアミド繊維とし、鉤裂きが正方形の柵内で止まる引き裂き防止構造のリップストップ 織りとする。（以下、紺生地と呼ぶ）

上記素材の規格等は別表1のとおりとする。

- イ 內衣生地  
透湿防水層及び断熱層により構成し、規格等は別表 2 のとおりとする。
- ウ 生地<sup>の質量等</sup>  
生地部の積層 550g/m<sup>2</sup>以下  
(紺生地+透湿防水層+断熱層)
- エ 補助材料  
規格等は、別表 3 のとおりとする。
- (4) 遮熱性能等  
上衣及びズボン  
上衣及びズボンは、消防隊員用個人防火装備に係るガイドライン(2017年 3 月改訂版)の遮熱試験数値にクリアしたものとす。
- (5) 外観及び寸法等  
ア 外観及びカッティングラインは、概要図 1 及び 2 のとおりを遵守する。  
イ 当消防本部の指示に従い、上衣はカタログサイズより更に 13cm 程度着丈を縮めたものとし、胴ベルト通しの無いオリジナルモデルとする。  
ウ サイズ別の寸法は、別表 4 のとおりとする。
- (6) 縫製等  
ア 縫製は、消防活動に耐える十分な強度を有し、縫い目のとび、はずれがない優良なものであること。  
イ 糸調子は縫い目が優良で、縫い曲がりが目立たないこと。  
ウ 押しホック等の取り付けで外衣の表から裏地まで金属を打ち抜いた部分は、金属が直接身体に触れないように外衣と同等の生地を用いたあて布をすること。
- (7) 構造  
ア 上衣  
(ア) 概要  
a 消防活動の作業性を確保するため、肩・腕部の運動に対し抵抗が少なく、上衣のずり上がり等を起こさず、スムーズに運動できること。  
b 構成する生地<sup>の積層間</sup>に安定した含水し難い空気層を確保し、かつヒートストレスを低減する為の機能を有すること。  
(イ) 外衣  
概要図 1 及び以下のとおりとする。  
a 前合わせは、別表 3 の規格とおりのコイルファスナーによる開閉式とし、紺生地<sup>でその部分を覆う</sup>。  
b 袖口周りは周囲を調節出来るように紺生地と面ファスナーにてストラップ<sup>を設ける</sup>。

c 肩・腕・脇部分は、立体的なデザインかつ運動の障害とならないこととする。

d 反射テープ

(a) ユニチカスパークライト製スパークトリム ST14C/75 (75mm幅・オレンジグレー) を概要図 1 のとおりに取り付ける。

(b) いずれも縦・横方向へ二重縫製とする。

e 肩部及び肘部には、黒色補強布を縫い付け、耐久性及び防護性を有したものとす。

f ヒートストレスという問題を可能な限り解消させる為に、概要図 1 のとおりの胸部 2 箇所、後両脇部 2 箇所にベンチレーションフラップを設け、熱気を放出し、防火衣内の温度上昇を防ぐ。

g ベンチレーションフラップは、水の浸入を防ぐダブルフラップ式とする。

h 胸ポケット

(a) 左右胸部に縫い付け式の紺生地製無線機用ポケットを概要図 1 のとおり設ける。

(b) 雨蓋は、3分割式で面ファスナーにて開閉可能なものとする。

(c) ポケット下部に水抜き穴を設ける。

i 袖

(a) 複合層の安全性を隙間なく確保するため、袖口の表地から 25mm 以内まで、內衣用難燃透湿防水層を紺生地に縫い付ける。

(b) 内袖口はジャージ素材とし、ジャージと防火衣袖口との間の素材に內衣用難燃透湿防水層を使用する。

(c) 袖口周りに黒又は濃紺の合皮を 1 周巻き付け、補強する。

j 襟

(a) 表裏に紺生地を用いた耳から顎にかけて概要図 1 のような曲線を描いて首部を保護するものとする。形状は概要図 1 のとおりとする。

(b) 表裏紺生地間に厚み約 0.6mm の特殊接着芯を内臓させ、自立性を高める。

(c) 自立状態で自然に顔部を覆え、熱風を防止できる構造及び大きさとし、襟の前部は紺生地と面ファスナーによるストラップで左右の襟を合わせられるようにする。

(d) 胸部から地面垂直に独立して立ち上がりそのまま襟となり、また襟周囲を大きくする事により、防火衣内側の熱気を襟周囲から排出させるベンチレーションネックとする。

(e) 左右襟部に紺生地で、概要図 1 のとおり、マイクループを取り付

ける。

k 左右前身頃上部に紺生地で、概要図 1 のとおり、マイクループを取り付ける。マイクループは片側を押しホックによる開閉式とし、無線機アンテナを抑えられるものとする。

l 左右前身頃には、概要図 1 のとおり、カラビナフックを通す金属 D 環を取り付ける。

m 前身頃裾部箱ポケット

(a) 左右前身頃裾に紺生地による箱ポケットを取りつけ、雨蓋付きで面ファスナーによる開閉式とする。

(b) ポケット下部に水抜き穴を設ける。

n 前合わせの右身頃側コイルファスナーの最下部を防火衣本体より浮かせ、より早い防火衣着用を可能にするクイックジッパーを設ける。また、スライダーには赤色の引き皮を取り付ける。

o 裾は、前身頃よりの後身頃を長くしたモーニングカットを採用し、前屈みの姿勢時に後方からの防護を目的とする。別表 4 サイズ表内着丈には後身頃モーニングカット部の長さは含まない。

p 後身頃左右肩部から背脇部の間に約 50mm 幅の特殊アクションプリーツを設け、腕の上下前後運動時に特殊アクションプリーツが開く構造とする。

q 背面上部に「静岡県」「富士宮消防」と橙色反射シート（ユニチカスパークライト(株) MTK3504）熱圧着にて名入れを施す。名入れの書体、文字等は当市が指示するものとする。

r 背面下部に「FUJINOMIYA F.D.」と銀色反射シート（ユニチカスパークライト(株) MR3501S）で熱圧着した橙色反射テープ（ユニチカスパークラト(株) MTK804FP）を縫い付け、名入れを施す。

s 片布等は、当消防本部の指示に従い、取り付ける。

(ウ) 內衣

a 後身頃裾部に面ファスナーを取り付け、外衣との着脱可能とする。

b 透湿防水層のフィルム面の縫い目全てに、熱圧着テープで目止めし、防水性を高める。

c 片布等は、当消防本部の指示に従い、取り付ける。

イ ズボン

(ア) 概要

消防活動時の作業性を確保する為、股・膝部の運動に対し抵抗が少なく、ズボンのずり下がり等を起こさず、スムーズに運動できること。

(イ) 外衣

概要図 2 及び次のとおりとする。

- a ズボンは、腰ベルトとサスペンダーにより支持する。
- b 腰部ベルトは、PP 製で黒い色で幅は約 38mm とし、腰の両側で確実に締め付けられる構造とする。また、脱ぐ時に締め付けを緩めるベルトは、分り易いように PP 製のグレー色とする。
- c サスペンダーは、肩への負担を軽減させる為、黒色のゴム製と黒色の PP 製とを繋げて作成し、幅は約 50mm とする。型は H 型とし、両肩で確実に締め付けられる構造とする。また、サスペンダーはズボンと取り外し可能とするが、外した際に吏員の胴囲を傷つけないように金属・プラスチック等のジョイントバックルが防火衣本体・サスペンダーに残らないように面ファスナーにて取り付ける。
- d 前立ては、コイルファスナー仕立てとし、その上部は押しホックで止められる構造とする。
- e 股・膝部分は、立体的なデザインであることとし、運動の障害とならないこと。
- f 膝から裾にかけて緩やかに絞ったデザインとし、両裾外側には、コイルファスナーを設け開閉するために、前に引き易いように斜めにして取り付ける。
- g 裾
  - (a) 裾には、面ファスナーを取り付けた紺生地製ストラップにより裾幅を調節できるものとする。
  - (b) 裾口廻りに黒又は濃紺の合皮を 1 周巻き付け、補強する。
- h 反射テープ
  - (a) ユニチカスパークライト製スパークトリム ST14C/75 (75mm 幅・オレンジグレー) を概要図 2 のとおりに取り付ける。
  - (b) いずれも縦・横方向へ二重縫製とする。
- i 臀部は、紺生地を 2 枚重ねとし、補強する。
- j 膝部に 3D プロテクション膝パッドを設けるが、3D プロテクション肘パッドと同じく防火衣と一体化しているものとする。積層は上から黒色補強布×1 枚、紺生地×1 枚、特殊パッド×1 枚、抗菌防臭加工難燃性透湿防水布×1 枚とし、膝部の防護をする目的としながら、特殊パッドが水分を含まない構造とする。
- k 膝部の 3D プロテクションパッドは概要図 2 のとおりのカッティングにより 3D 形状とし、膝部の防護をしながら活動性に優れているものとする。

- l 左右太腿外側に紺生地製のパッチポケットを取り付け、雨蓋付きで面ファスナーによる開閉式とする。形状は概要図 2 のとおりとする。
  - m ヒートストレスという問題を可能な限り解消させる為に概要図 2 のとおりの内股部 4 箇所ベンチレーションフラップを設け、熱気を放出し、防火衣内の温度上昇を防ぐ。
  - n ベンチレーションフラップは、水の浸入を防ぐダブルフラップ式とする。
  - o 紺生地にて、当消防本部が指定する位置に、墜落制止用器具胴ベルト型を通すためのベルト通しを取り付ける。ベルト通しは押しホックによる開閉式とする。
  - p 紺生地にて、当消防本部が指定する位置にカラビナフックを通すループを取り付ける。
  - q 背面側の股上は弧を描くような形状とし、背面中央部で 5cm 程度伸ばす。前屈みの姿勢時に後方からの防護を目的とする。別表 4 サイズ表内総丈はこの部分の長さは含まない。
  - r 片布等は、当消防本部の指示に従い、取り付ける。
- (ウ) 內衣
- a 透湿防水層のフィルム面の縫い目全てに、熱圧着テープで目止めし、防水性を高める。
  - b 前立ての両脇に面ファスナーを取り付け、外衣との着脱可能とする。
  - c 片布等は、当消防本部の指示に従い取り付ける。

別表 1. 外衣生地規格一覧表  
紺生地

試験項目		規格等	試験方法等
混紡率		メタ系アラミド 90% パラ系アラミド 10%	JIS L 1030
組織		リップストップ平織	JIS L 1096
使用糸番手		タテ、ヨコ共 20番手双糸	JIS L 1096
密度	タテ	48本以上 (2.54cm間)	JIS L 1096
	ヨコ	44本以上 (2.54cm間)	
引張強さ	タテ	1,200N以上	JIS L 1096 A法
	ヨコ	1,100N以上	
引裂強さ	タテ	110N以上	JIS L 1096 A-1法
	ヨコ	100N以上	
寸法変化率	タテ	±3%以内	JIS L 1042 G法
	ヨコ	±3%以内	
質量		235g/m <sup>2</sup> 以下	JIS L 1096
燃焼性	残炎時間	1.0秒以下	JIS L 1091 A-1法
	余じん時間	1.0秒以下	JIS L 1091 A-1法
	炭化面積	10.0cm <sup>2</sup> 以下	JIS L 1091 A-1法
染色堅牢度	洗濯変退色	4級以上	JIS L 0844 A-2法
	洗濯汚染	4級以上	JIS L 0844 A-2法
	汗変退色	4級以上	JIS L 0848 A法
	摩擦汚染 (乾燥)	4級以上	JIS L 0849 II形法
撥水性	LO/L10	5級以上/3級以上	JIS L 1092 7 <sup>o</sup> 法
撥油性	LO/L10	6級以上/4級以上	AATCC 118法
制電性	摩擦帯電電荷量	7μC以下	JIS L 1094

別表2 內衣生地規格等一覧

1 透湿防水層（中間地）

試験項目		規格等	試験方法等
基布混紡率		メタ系アラミド 95% パラ系アラミド 5%	JIS L 1030
基布の組織		平織	JIS L 1096
基布の使用糸番手		経緯共 40/1	JIS L 1096
基布の密度(本/2.54 cm)		縦横共 50 以上	JIS L 1096
質量 (g/m <sup>2</sup> )		65±10	JIS L 1096
耐水圧 (KPa)	初期	400 以上	JIS L 1092 B 法
引張強さ (N)	経	350 以上	JIS L 1096 A 法
	緯	330 以上	
引裂強さ (N)	経	25 以上	JIS L 1096 D 法
	緯	20 以上	
燃焼性	炭化面積(cm <sup>2</sup> )	6 以下	JIS L 1091 A-4 法
	残炎時間(秒)	1 以下	
	余じん時間(秒)	1 以下	

2 断熱層（裏地）

試験項目		規格等	試験方法等
混紡率		メタ系アラミド 95% パラ系アラミド 5%	JIS L 1030
使用糸番手		縦横共 40/2	JIS L 1096
組織		はち巣織	
質量(g/m <sup>2</sup> )		200±20	JIS L 1096
密度(本/2.54 cm)		縦横共 70 以上	JIS L 1096

別表3 補助材料等規格一覧

製品名	規格等
縫製糸	パラ系芳香族ポリアミド 100% #30 紺生地と同系色とする。
押しホック	ニッケル
抗菌防臭加工難燃性透湿防水布	內衣透湿防水層とは異なる抗菌防臭加工難燃性透湿防水布 SEKの承認品
内袖口	メタ系アラミドニット
面ファスナー	幅 25 mm・幅 50 mm
反射テープ	ユニチカスパークライト(株) ST14C/75 オレンジグレー 75 mm
コイルファスナー	YKK コイルファスナー ・上衣前合わせ用 1本 ・上衣内衣着脱用 1本 ・ズボン前立て用 1本 ・ズボン裾締め用 2本 ・ズボン内衣着脱用 1本
腰部ベルト	PP製、幅約 38 mm、黒色・グレー色 両端にほつれ止め加工(合成樹脂加工等)を施す。
サスペンダー	PP製テープ幅 50 mm黒色 ゴム製テープ幅 50 mm黒色
特殊パッド	日本鉄道車両機械協会鉄道車両用燃焼試験 合格品 自動車用 FMVSS302 法難燃基準 合格品

別表4 サイズ別各部寸法

1 上衣 (単位cm：寸法許容差 ±2)

サイズ	着丈	胸囲	衿丈	裾回
M	63	120	82	120
L	66	125	84	125
LL	69	130	86	130
3L	72	135	88	135

2 ズボン (単位cm：寸法許容差 ±2)

サイズ	腰回	総丈	股下	渡り幅
M-70	80~90	99	70	38
M-75		104	75	
L-70	90~98	100	70	40
L-75		105	75	
LL-70	98~106	101	70	42
LL-75		106	75	

# 概要図1

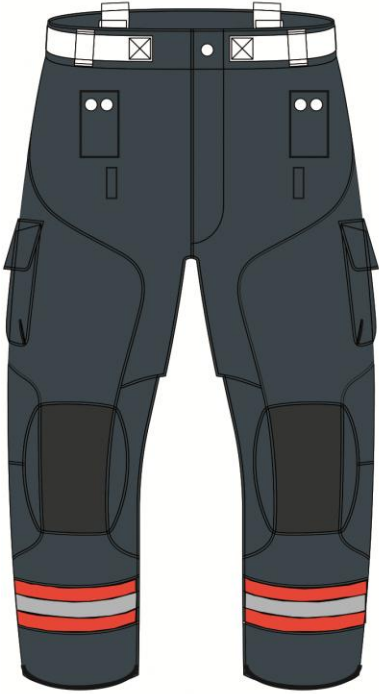


前面図

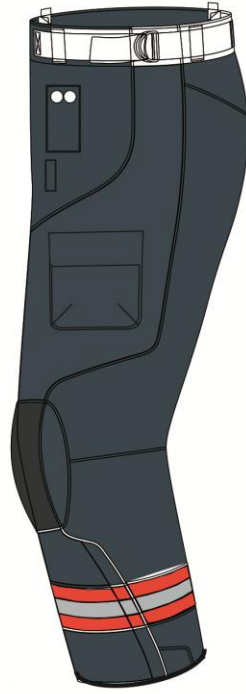


後面図

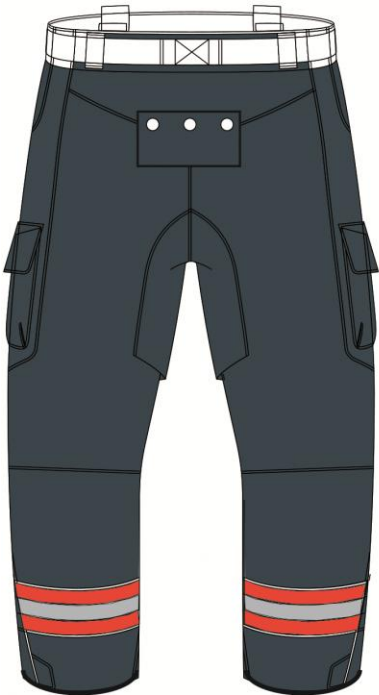
## 概要図2



前面図



側面図



後面図